



RI第2530地区 県北第1分区 2016-2017年度

福島南ロータリークラブ会報



RI会長 ジョンF.ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI第2530地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子

目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

平成29年

4月26日(水)

例会会場：福島サンパレス

第39回 例会

会員 / 74名 出席 / 48名 出席率 / 64.86%

メイクアップ / 26名 修正 / 74名 修正率 / 100.0%

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長

会長挨拶 佐久間 功 会長



今日は、ロータリーのポリオ撲滅ニュースレターをご紹介します。
4月24～30日は、世界予防接種週間です。世界的な予防接種キャンペーンにより、1985年以来、25億人以上の子供がポリオの予防接種を受ける事ができました。ビル・ゲイツ&メリンダ財団もポリオ撲滅に支援していることはご存じの通りです。メリンダさんのコメントを紹介します。「すべての子供にワクチンを投与しようとリスクを冒して予防接種にあたるチームに、私たちは脱帽する思いです。ロータリーの飽くなき粘り強さには、大いに刺激されます。ロータリーは、私たちが参加するずっと前から、ポリオとの闘いを先導してきました。そして今も進み続けています」また、「ロータリーは、症例が35万件から37件に減ったことが大きな進展であると認識する一方で、“ゼロ”にならなければ成功ではないことも知っています」と語っています。今年に報告されたポリオ症例はわずか数例であり、これが史上最後の症例となることが期待されています。

今年6月にアトランタで開かれるロータリー国際大会では、ビル・ゲイツ氏が講演し、ロータリーとともにポリオ撲滅への決意を新たに示されるとのことです。

3月25日、西・中央アフリカの13か国で5歳未満の児童1億1600万人以上を対象とした一斉予防接種が行われ、19万人を超えるワクチン投与者が徒歩や自転車で予防接種会場に集まりました。このキャンペーンの目的は、ポリオへの免疫を高め、ウイルス感染を永久に断ち切ることです。2016年8月、アフリカ大陸で最後のポリオの温床とみなされていたナイジェリアのポルノ州で、4人の子供がポリオによる身体麻痺を発症、チャド湖沿岸の5か国の公共保健大臣らは、今回のポリオ発生を同地域での緊急事態と宣言し、数回にわたる一斉予防接種キャンペーンを実施しました。

「あと少しです」。2015年に報告されたポリオ症例は74件でした。2016年、この数は37件に減っています。2017年の時点で、この数は1桁となっています。

今後も皆様の温かいご支援をお願い致します。

R I から連絡がありまして、5月のロータリーレートは1ドル110円とのことです

5月10日(水)のプログラム

- 12:30 1.開会点鐘
- 2.国家斉唱
- 3.ロータリーソング 「奉仕の理想」
- 4.行動規範の唱和
- 5.来訪者紹介と会長挨拶
- 6.米山奨学金授与
- 7.地区第2回クラブ奉仕セミナー報告
- 8.誕生日祝い
- 9.お食事をどうぞ
 - ・スマイリングBOXの報告
 - ・幹事報告
- 10.ロータリーの友読みどころ
- 11.会員スピーチ(高橋 和之 会員)
- 12.各委員会報告
- 13:30 13.閉会点鐘

今後のプログラム

- 5月17日(水) 移動例会(永京寺・座禅)
 - ・大野順道会員 法話
- 5月24日(水)
 - ・ラオス教育支援報告
 - (認定NPO 法人アジア教育友好協会・穴戸仙助氏)
 - ・新世代会議報告
 - ・地区研修協議会報告
- 5月31日(水)
 - ・クラブ協議会(各委員会活動報告1)
 - ・RYLA 研修会報告

地区情報・第一分区・関連情報

- 5月14日(日)
 - 2017-2018年度米山奨学学生歓迎午餐会(華の湯)
- 5月20日(土)
 - 新世代会議(辰巳屋)
- 5月21日(日)
 - 2017-2018年度地区研修協議会
 - (東京第一ホテル新白河)
- 5月27・28日(土・日)
 - RYLA 研修会(プリティッシュルズ)
- 5月28日(日)
 - 県北第一分区親善ゴルフ大会
 - (パーシモン・福島南RCホスト)

姉妹クラブ交流について 高橋 勇雄 会員



平成29年4月12日にサンパレス福島にて行われた姉妹クラブ打ち合わせにつきまして、ご報告致します。出席者は東京麹町RCから6名、福島南RCから7名でした。

(1) 共同奉仕活動(飯館村小・中学校図書贈呈)について次年度も引き続き継続することとし図書に限定せず教材等も視野にいれ飯館村教育委員会の要望等確認をとりながら共同奉仕することとし双方の支援金額については後程検討することとした。

(2) 東京麹町RC創立50周年記念事業について(グローバル補助金活用事業)、①福島市社会福祉協議会との打合せ(H29年4月11日(水)AM11:00～)。今後の打合せの連絡担当者を東京麹町RCは浅野幹事とし福島市社会福祉協議会は宗像総務課長として福島市における風評被害払拭のため支援事業を検討することとした。また東京麹町RC創立50周年記念事業とグローバル補助金活用事業は別事業とし若林国際奉仕委員長よりグローバル補助金申請については目的を明確にした上で進めることが示された。

(3) 次年度の姉妹クラブ交流及び活動について、①姉妹クラブ締結6周年記念行事(福島南RCホスト)H29年10月25日(水)に行うこととした。②東京麹町RC創立50周年記念夜間例会をH30年6月11日(月)開催予定で福島南RC会員へはメイクアップとして20人位の会員参加を募ることとした。③家族納涼会・家族クリスマス忘年会については双方自由参加とすることとした。家族観桜会は次年度姉妹クラブ打合せをもつこととし双方メイクアップすることとした。④フレンドリーマッチゴルフについて、双方の中間地にて開催していたが③の次年度姉妹クラブ打合せ予定である福島南RC家族観桜会にあわせ福島にて開催する事とした。

(4) 姉妹クラブ合意期間満了に伴う更新について(H30年6月)、2015-2016年度に「姉妹クラブとなる事の合意書」第3項に基づき双方合意の上、2年間の更新を行った。今後は2年毎に双方合意の上更新することとしている。次年度は姉妹クラブ合意期間を3年間で検討することで双方の理事会で審議した上で双方合意の上、東京麹町RC創立50周年記念例会において更新することとした。

(5) その他として、①ベルギー大使館中庭における福島県産農産物の販売について横山幹事よりJA福島中央会へ県産農産品納入・販売打診済み(H29年3月7日)の報告がありH29年10月を目安に双方の会員立会いのもとJA福島中央会で福島県産農産品の納入・販売・撤収をし、詳細が決まり次第案内をする事とした。以上、ご報告と致します。

会員スピーチ 國井 元 会員



私が工事業を始めてから40年になります、その中で一番大規模な工事だった摺上川ダム工事について話したいと思います。日中の工事と夜間の工事の二部制で、約5年間にも渡る長い現場でした。私どもは試験室とロック材の間詰め工事を主に担当致しました。

ダム建設の歩みを少しお話します。昭和46年6月 福島県が国に摺上川総合開発調査を要望、昭和48年 国による予備調査を実施。それから12年後の昭和60年4月摺上川ダム工事事務所が開設され、平成6年12月にやっと本体建設工事着工、平成17年9月 遂に摺上川ダムが完成したのです。

摺上川ダムは多目的ダムで、水道用水として福島市・伊達市・二本松市・伊達郡(川俣町・桑折町・国見町)に生活に必要な水を供給している他にかんがい用水、工業用水、発電にも利用されています。皆様のテーブルに置かれたコップの水、それに私が少しでも協力しているんだなと嬉しく思います。

会員スピーチ 海老根 潤 会員



今日は、このような機会を設けていただき誠にありがとうございます。

私は、平成26年7月2日に前任の福田より名義変更で入会させていただきました。私が入会させていただいた年の12月に会員スピーチの機会をいただきましたが、時間切れですぐに打ち切り終了となり、大変緊張しておりましたので「ホッとした」記憶がございます。しかしながら、皆様には満足な自己紹介も出来ないままで、申し訳なく思っておりました。当時の続きで、簡単な自己紹介からさせていただきます。

昭和46年生まれ、45歳です。福島市笹谷出身です。学生時代は剣道、バレーボール、登山と様々なスポーツをやっておりましたが、何も極めることなく過ごしてしまいました。広く浅く経験。学生時代当時の趣味は、映画鑑賞、格闘技全般の観戦など。自動車も好きで、就職は地元の福島日産自動車でした。好きなものに囲まれ楽しく仕事をしておりましたが、縁あって福田社長と出会いその人柄に引かれ転職いたしました。入会当時の挨拶では、5人家族と自己紹介させていただきましたが、一人増えまして子供が4人の6人家族になりました。実家近くの矢野目で暮らしております。小学生の子供が3人と一番下の子供が2歳なので、プライベートでは自分の時間は一切ないですが、今の内だけは、子供達と過ごす時間を大切にしていきたいと思っております。

先週あった嬉しい出来事をお話させていただきます。当社では、約70名の社員がおりますが、その内2名が障がい者です。今回、その2名が表彰される事になりまして、大変嬉しく思っております。「長年勤務し、意欲、向上心、技術等が優れていると認められた」との事で卒業校より推薦され、「福島職業能力開発研究協議会」より勤労者表彰の受賞決定通知が届きました。彼らは、平成19年秋に支援学校の授業の一環として当社で現場実習を3週間行いました。楽しい環境だったらしく、お互いに別れが惜しくなり、冬休み期間にアルバイトの申出があり長期間に渡りお仕事を手伝っていただきました。

二人の人柄は、寡黙・真面目・意外にもモノマネが得意で場を和ませる・バスケットボール部に所属している力仕事もこなす男性・明るく人見知りしない・笑顔が絶えないおしゃべり好きな女性。そのような印象でした。

そして縁あってそのまま平成20年4月に入社していただきました。現在二人は、当社消毒物流センターで、介護保険サービスでの車椅子や電動ベッドなどのレンタル商品を管理してもらっています。レンタルした返却品の消毒・洗浄・補修・調整・保管・配送などが主な仕事です。積極的に計画を立てて仕事をこなすのは不得手ですが、覚えた業務は丁寧にこなし、仕事ぶりは職人肌。今では毎年2回支援学校の現場実習の受入がありますが、生徒さん達へ作業の指導までやっています。毎年出来る仕事が増えてきて成長を実感しております。また、彼らの真面目さのエピソードとしては、2011年の震災の際、電車が運休している状況でしたが、伊達市保原町の自宅から鎌田の会社まで毎日自転車通勤し、尚且つ無遅刻無欠勤でありました。

私どもの会社設立のキッカケは、創業者福田順一の長男が生まれつき脳性麻痺(てんかん)であり、「この病気を治してあげたい」「最高の車いすを買ってあげたい」との思いからでした。そして長男が通った養護学校(支援学校)の卒業生をいつかは雇用したいとの強い思いがあり採用した二人が、10年近く勤めてくれて表彰までされる事には大変感慨深いものがあります。私ども株式会社ハッピーケアは今年の5月28日で創立30周年を迎えます。この節目の年に創業当時の理念や思いを皆様にお話させていただき、今後もこの思いを大切に参りますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。



第5回福島南RC ゴルフコンペ報告 菅野 和宏 部会長

4月23日(日)民報コースで行われた第5回福島南RCゴルフコンペにつきまして、ご報告致します。

優勝 穴戸 隆司 会員	6位 菅野 和宏 会員
準優勝 国分 秀夫 会員	7位 林 克重 会員
3位 植木 洋司 会員	8位 野地 利雄 会員
4位 橋脇 英行 会員	9位 齋藤 浩 会員
5位 吉田 和義 会員	10位 武藤 正隆 会員

以上、ありがとうございました。

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字週吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室 TEL025-546-3793 FAX024-545-7878
HP：http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html MAIL：f-southrotary2530@inaka.ne.jp
例会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町 4-30 TEL024-523-3811(代) FAX024-523-0375